



令和7年11月7日(金)

## 秋本番

通勤の道中、田園風景が広がる道路があります。朝からこの景色を見るのが好きで、のんびり運転です。6月、田植えが終わってから4カ月ほど経ちましたが、あちらこちらで稲刈りが行われて、収穫の秋を感じています。台風や大雨等で気を揉んだ時期もありましたが、稲刈り前は一面黄金色の風景に、心が洗われるようでした。農家の方々が手塩にかけて育てられた稲が頭を垂れていて、何となく心が温かくなります。また、この季節は海苔の栽培がスタートする頃です。有明海は全国有数の海苔の産地です。これから寒い時期にかけてはとても忙しくなる季節だと聞いています。荒尾市以西の有明海沿岸には多くの「海苔の畑」が見られます。まさに季節の風物詩ですね。

何をするにも良い季節です。読者の皆様におかれましては、どのような時間をお過ごしになるのでしょうか。そういえば、10月31日は「ハロウィン」でしたね。ALTの先生もアニメのキャラクターに扮していました。筆者の幼少期にはなかったのですが、それだけ世の中がグローバル化したのでしょね。これから子ども達が楽しみにしている行事が連続します。楽しい時間になってください。

## 芸術鑑賞会「Ventures」

10月17日(金)に芸術鑑賞会が実施されました。今年は専大熊本玉名高等学校のマーチングバンド「Ventures (ベンチャーズ)」に来て頂きました。ベンチャーズは日本マーチングバンド協会の全国大会常連校として知られています。ブラス、パーカッション、カラーガードからなり、演奏だけでなく歌やダンス、演技も取り入れた独創的な演出が魅力です。本校においても、華やかなパフォーマンスと豊かなサウンドで子ども達や保護者の皆様、地域の皆様、教職員を楽しませてくれました。



## 修学旅行に行きました

10月19日(日)、20(月)に、6年生は修学旅行に行ってきました。2日間共に晴れて、全員元気に学習と活動をしてきました。

1日目は平和学習でしたが、真剣に学ぶ姿から、今後学びを深めて他学年だけでなく地域やもっと広い世界に啓発してくれるのではないかと期待しているところです。平和学習については学びのスタートラインに立つたばかりであり、まだまだ多角的な視点からの学習が必要です。今後、深く歴史を学び、そして「目には目を」というような姿勢では平和な世界は実現できないということを実感して欲しいものです。

2日目は佐世保市にあるハウステンボスにおいて、全力で思い出作りをしていました。広い敷地を縦横無尽に歩き(走り)周り、時間の無駄が無いように、班のメンバーと話合いながら活動していました。

後半はお土産選びが大変だったようです。多くの思い出ができて、お金では買えない収穫も多い修学旅行だったようです。





**先生方も頑張っています**  
 10月27日(月)に、5年生の教室で「授業研究会」が行われました。今回は5年担任の蔭山冨子先生が子ども達と説明文「固有種が教えてくれること 自然環境を守るために」の学習をしました。文中に使われている資料の効果について考え、文章と資料の結び付け方等について学習をすすめました。子ども達はそれぞれに考えを持っていて、友達と意見を交流し、発表していました。

府本小学校の教師は日々「分かりやすい授業」「楽しい授業」「子ども達が主体の授業」を目指して研究をしています。これまでも多くの先生方が授業研究会を実施し、今後も研究を深め続けて参ります。



**3・4年生見学旅行**  
 10月28日(火)、3・4年生が南関町と山都町に見学旅行に行きました。場所は「エコア熊本」と「通潤橋周辺」「円形分水」「鮎の瀬大橋」です。エコア熊本では産業廃棄物最終処分場を見学しました。リサイクルできない廃棄物を、安全な形で埋め立てる場所であることを学びました。

通潤橋周辺では布田保之助についての事前学習について、ボランティアガイドさんのお話に耳を傾けながら、改めて検証していました。

鮎の瀬大橋では、地上140メートルの高さに少し怖がりながらも、紅葉し始めた山都町の自然の絶景を楽しんでいました。

見学先では子ども達に新たな発見がありました。それは「協働」の姿です。4年生が3年生をリードする姿、同学年で助け合う姿に感心しました。帰り道子ども達は口々に「楽しかった。また行きたい。」と話していました。心身ともに学びの多い見学旅行となりました。



**荒尾市小学生親睦陸上大会**  
 秋晴れの10月30日(木)、荒尾市陸上競技場において「荒尾市小学生親睦陸上大会」が実施され、6年生の子ども達が参加しました。

コロナ禍の影響以降、規模及び時間を縮小、短縮して実施されている本大会ですが、交流や親睦という意味を考えると大変意義深い大会です。

当日は天気にも恵まれ、子ども達の「走る」「跳ぶ」「投げる」等の躍動する姿は、我々観る者に感動を与えてくれました。そして、参加した子ども達はお金では買えない自信と経験を手にしたようです。子ども達は「自己新記録が出ました!」「他の小学校に友達ができました!」「緊張しすぎて疲れました。」等の感想を聞かせてくれました。

6年生児童は来年度4月から中学校に進学しますが、記録会に参加した子ども達の中には同じ中学校で学ぶことになる子もいるわけです。そのような意味からもこの陸上記録会は大きな意味を持っています。互いに支え合い、切磋琢磨する仲間が増えるということは、それこそお金では買えない財産です。以下に、当日の活躍の様子を少しだけ紹介致します。

